

アウिकリ®注を注射する日付と単位数を記入しましょう。

	注射日	単位数
1回目	月 日 ( 曜日)	単位
2回目	月 日 ( 曜日)	単位
3回目	月 日 ( 曜日)	単位

※アウिकリ®注の投与を開始する際には、1～3回目の単位数を主治医に確認のうえ、あらかじめ記入してください。特に他の基礎インスリン製剤から切り替える場合は、1回目に増量するかどうか確認し、2回目の単位数にも注意してください。

※注射日は毎週同じ曜日にしてください。

アウिकリ®注に関する情報は、  
弊社ホームページでも  
ご確認ください。  
二次元コードより  
アクセスしてください。



弊社製品に関するお問い合わせ (治療内容に関しましては、主治医にご相談ください)

### カスタマーセンター


 **月曜日から金曜日**※  
(祝日・会社休日を除く)

 **0120-180363**

**WEBお問い合わせフォームはこちら**

※お問い合わせいただいた内容を弊社で確認する時間は平日9～17時(土日祝祭日および弊社休業日を除く)となります。また、回答に2-3営業日を要しますことをあらかじめご了承ください。



 旅行や出張などで、日本国外からカスタマーセンターへのお問い合わせが必要な場合は、右記番号でも受け付けいたします。\*

**03-4571-1399**

※受付時間は弊社ホームページに掲載しております。 [ホームページはこちら](#)



RMP

# アウिकリ®注をお使いになる方へ



監修

東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科  
教授 **山内 敏正** 先生  
新潟薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター  
センター長・教授 **朝倉 俊成** 先生

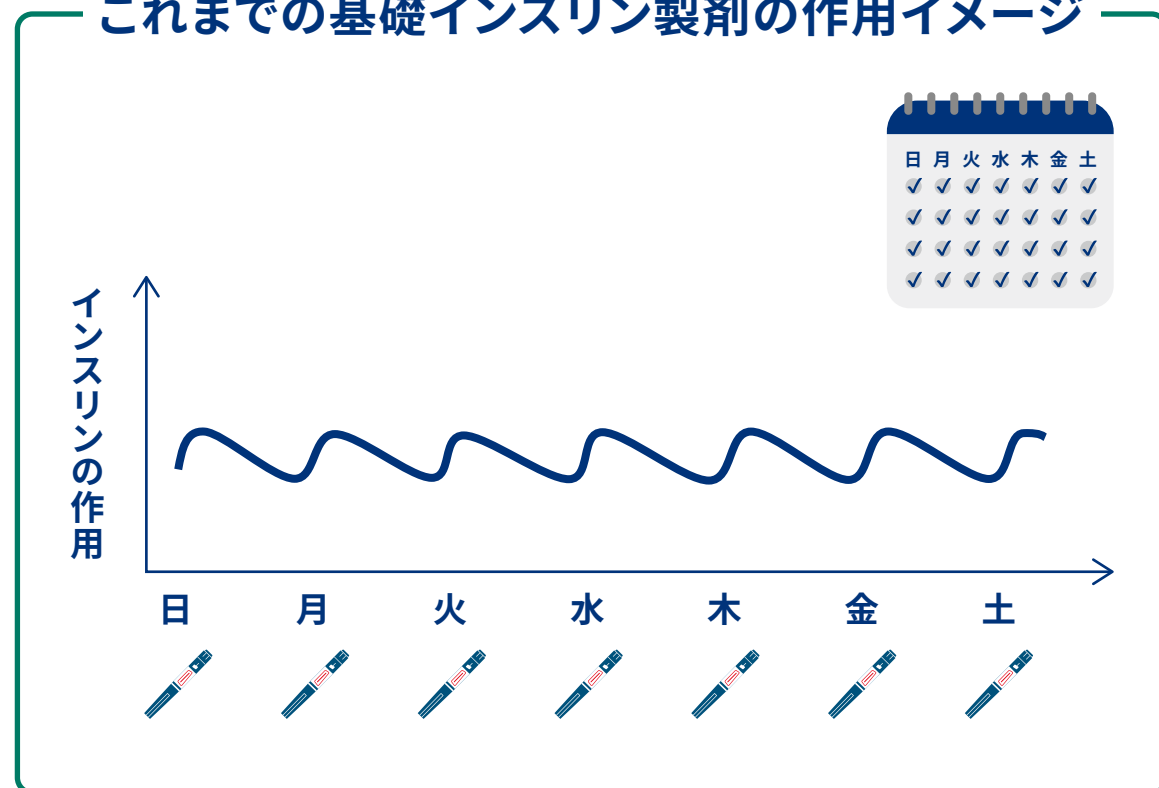


# アウिकリ®注の作用

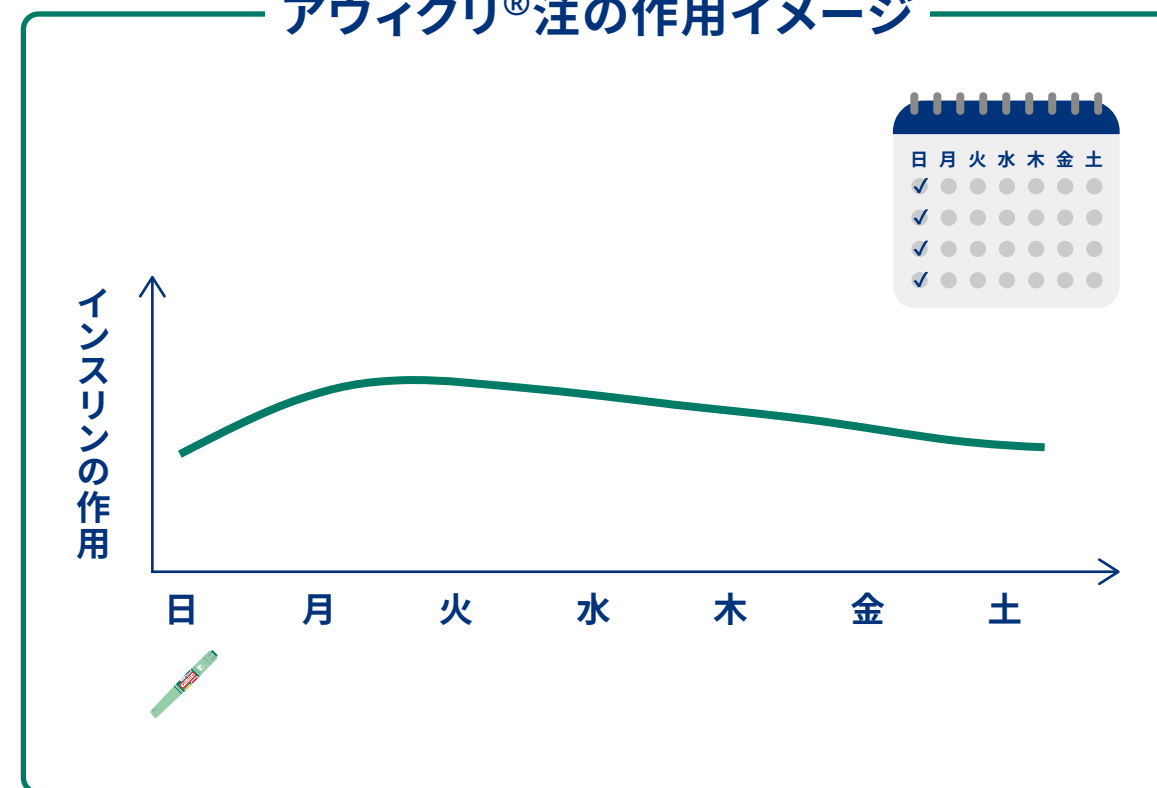
アウिकリ®注は週1回投与の基礎インスリン製剤です。

アウिकリ®注は、ゆっくりと長期間にわたって作用するため、週1回の投与で持続した効果が期待されます。

これまでの基礎インスリン製剤の作用イメージ



アウिकリ®注の作用イメージ



臨床試験では、アウिकリ®注を注射してから2～4日後に低血糖が多く認められました。

# アウィクリ<sup>®</sup>注の注射タイミング

毎週同じ曜日に皮下注射してください。

※注射する時間は、ずれていても構いません。

主治医から伝えられた注射タイミングや用量を守ってください。誤った使い方をすると、高血糖や低血糖になるおそれがあります。



注射を忘れた場合は、気づいた時点で直ちに注射してください。

その次の注射は4日間以上の間隔をあけてから行い、その後は新たな開始日と同じ曜日に注射してください。

例) 月曜日の注射を忘れた場合

日	月	火	水	木	金	土
1	2 注射忘れ	3	4	5	6 忘れた分を注射	7
8	9	10	11 新たな開始日	12	13	14
15	16	17	18 注射日	19	20	21

その後は新たな開始日と同じ曜日に注射してください。

## 他の基礎インスリンとの違い

主な毎日投与の基礎インスリンとは  
1クリックの単位数、注射タイミング、  
濃度が異なります。

	アウिकリ®注	主な毎日投与の基礎インスリン
1クリック(1目盛)	10単位	1単位
注射タイミング	週1回	1日1回
濃度	700単位/mL	100単位/mL *一部300単位/mL
1回あたりに 投与する液量	1回あたりに投与する液量は同じ *300単位/mLの毎日投与の基礎インスリンとは異なる	

ラベルにて製剤名と本体の色を確認し、主治医に指示された  
お薬であることを確認してください。

**複数の種類の糖尿病注射薬を使用している場合は、取り違え  
ないように注意してください。**

## アウिकリ®注の注入器

アウिकリ®注の注入器には、アウिकリ®注  
専用のフレックスタッチ®が使われています。

アウिकリ®注 フレックスタッチ® 総量300単位および700単位は  
カートリッジの途中までしか薬液が充填されていません。

アウिकリ®注 フレックスタッチ®  
総量300単位



アウिकリ®注 フレックスタッチ®  
総量700単位



単位合わせダイヤルの  
**1クリック(1目盛)は10単位**に相当します。



アウिकリ®注を投与する前に、単位合わせダイヤルを1クリック  
(10単位)回して空打ちを行ってください。必ずダイヤル表示を  
確認しながら、単位合わせダイヤルを回して単位数を調節して  
ください。ダイヤル表示が「0」に戻り、「カチッ」という音がする  
まで注入ボタンを真上から押してください。「カチッ」という音が  
してから6秒以上おいて、針を抜いてください。

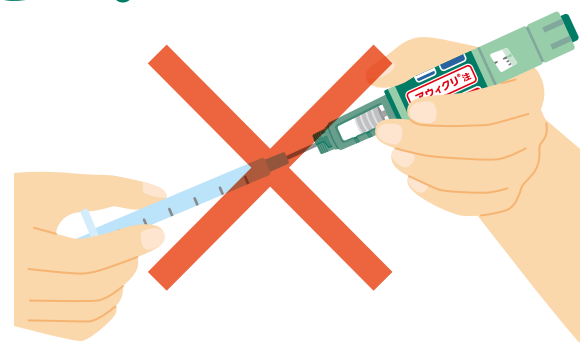
ご使用にあたっては「アウिकリ®注 フレックス  
タッチ® 総量300単位/総量700単位の使い方」  
をご参照ください。



## アウिकリ®注の使用上の注意

カートリッジを取り外して使用したり、シリンジを使ってカートリッジから薬液を抜き取らないでください。

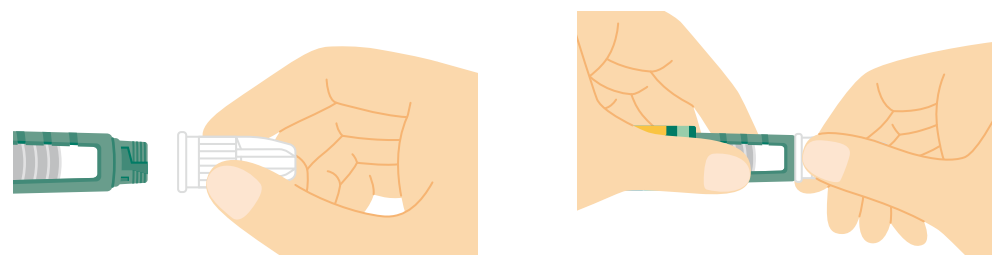
過少投与や過量投与の原因となります。



注射のたびに必ず新しい注射針を使用してください。

注射後は必ず注射針を外し、毎回新しい針を直前に取り付けてください。

同じ注射針を複数回使用すると、液漏れや針詰まりが起こり、正しい単位数を注射できず、また、薬剤の濃度変化や感染症の原因となることがあります。



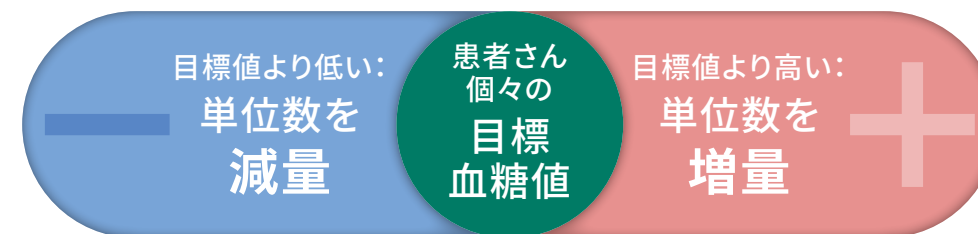
## アウिकリ®注の注射単位数

注射する単位数は自己判断せず、必ず主治医の説明に従ってください。

主治医から伝えられた注射タイミングや用量を守ってください。

誤った使い方をすると、高血糖や低血糖になるおそれがあります。

〈血糖値に応じた注射単位数の調節〉



詳しくは主治医にご相談ください。

### 他の基礎インスリン製剤から切り替える場合の注意点

初回注射の単位数が増量されることがあります。初回で増量した場合は2回目も増量を続けないように注意してください。



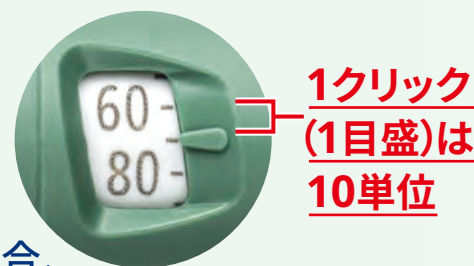
# 特にご注意ください

誤った投与をしないためにも、投与する前にラベルの各マーク(表示)を確認しましょう。

## ● 本剤は週1回投与の基礎インスリン製剤です。

誤って毎日投与した場合、低血糖が起こる可能性があります。

## ● 単位合わせダイヤルの1クリック(1目盛)は10単位に相当します。



正しいインスリン用量が投与されない場合、低血糖が起こる可能性があります。

## ● 他の週1回投与の糖尿病注射薬 (GLP-1受容体作動薬やGIP/GLP-1受容体作動薬)の投与量の設定方法とは異なります。

本剤の設定用量を誤った場合、低血糖が起こる可能性があります。投与前にダイヤル表示の目盛を目視で確認し、指示された投与量であることを確認してください。

### 週1回投与

この表示は用法を表し、「1週間に1回投与する製剤」であることを示しています。連日投与のインスリン製剤ではないので注意しましょう。



### 1目盛 10 単位

この表示は、単位合わせダイヤルの1目盛は10単位に相当していることを示しています。

### 総量 300 単位

この表示は、種類が「アウイクリ®注フレックスタッチ®」で、未使用時の薬液の総量が300単位であることを示しています。

### 総量 700 単位

この表示は、種類が「アウイクリ®注フレックスタッチ®」で、未使用時の薬液の総量が700単位であることを示しています。

### 濃度 700 単位/mL

この表示は、薬液1mL中に700単位が含まれているという薬液の濃度を示しています。

### 持効

この表示は、製剤区分マークで、持効型インスリン製剤の仲間であることを示しています。

### 製品区分マークについて

種類・薬効による分類を示すマークで、それぞれ以下製剤の仲間であることを示しています。

超速効型インスリン製剤

持効型インスリン製剤

GLP-1受容体作動薬



持効

GLP-1

製剤区分マークは、日本糖尿病協会 糖尿病医薬品・医療機器等適正化委員会にて検討・評価されて制定されました<sup>1)~3)</sup>。

1)くすりとうり病 5 (1) 77-83 (2016) 2)くすりとうり病 5 (2) 200-205 (2016) 3)DM Ensemble Vol.5 No.3 2016 November. pp34

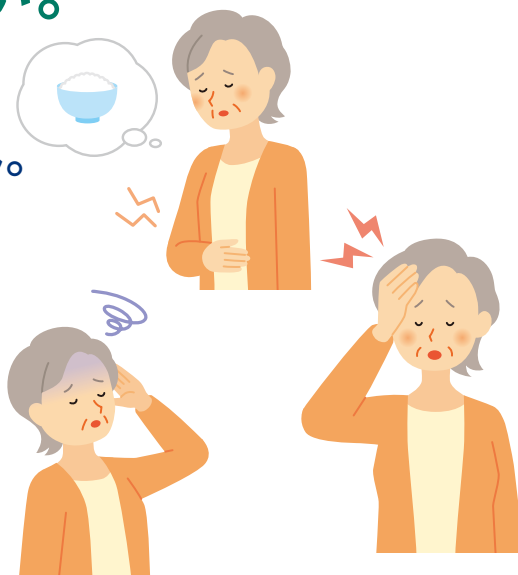
ご使用にあたっては「アウイクリ®注 フレックスタッチ® 総量300単位/総量700単位の使い方」をご参照ください。

# 低血糖の症状とその対処法

## 低血糖について不安がある場合は、主治医にご相談ください。

これらの症状は、  
低血糖のサインかもしれません。

- 空腹感
- 動悸
- 発汗
- ふるえ
- 倦怠感・疲労感
- 頭痛
- めまい
- 眠気
- 昏睡



低血糖はこのようなときに起こりやすくなります。

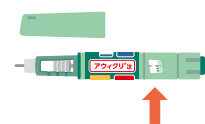
食事の量が  
いつもより少ない



いつもより長く、  
または  
激しい運動をした



インスリン注射の量が  
いつもより多い



インスリンの  
種類を間違えた



アウिकリ®注は、作用が長く続くため、低血糖症状の回復に時間がかかるおそれがあります。

また、低血糖は症状が回復しても、少し経ってからまた症状がでる場合があるため、しばらく注意して様子を見てください。

### 低血糖への対処法

すぐにブドウ糖や砂糖を摂取しましょう。

〈量の目安〉

ブドウ糖:5~10g

砂糖:20g

ブドウ糖を含む飲料:150~200mL



### 低血糖に備えて

ブドウ糖や砂糖を携帯しましょう。

アウिकリ®注の臨床試験では、アウिकリ®注を注射してから2~4日後に低血糖が最も多く認められました。

低血糖に備え、家族や周囲の人にも、低血糖の症状や対処法について、知っておいてもらいましょう。



## シックデイの対処法

体調が悪いとき(シックデイ)には、**対処法を主治医に相談してください。**

治療中に発熱や下痢、嘔吐などを起こしたり、食事が十分にとれなかったりする状態をシックデイといいます。シックデイの際は、自己判断せずに対処法を主治医に相談してください。

### 〈対処法の例〉

#### 水分を補給

脱水症状を起こしやすくなるので1日に少なくとも1リットル以上の水分をとる。



#### 食事をとる

何も食べない状態は避ける。少ししか食べられないときは、こまめにとる。冷たい牛乳や炭酸飲料はひかえる。



#### 血糖値を測定

こまめに自己測定する。



#### インスリン注射は継続する



## 1型糖尿病を持つ方への注意

アウिकリ®注での治療中は**血糖値の変動にご注意ください。**

1型糖尿病では、ライフスタイルの変化によって血糖値が変動しやすいため、十分注意してください。必要に応じて、血糖自己測定(SMBG)や持続グルコースモニタリング(CGM)などで、血糖値がどのように変動しているか確認することが推奨されます。



### 主治医にご相談ください。

- ・アウिकリ®注の用量調整をする場合
  - ・毎日投与のインスリン製剤へ変更する場合  
アウिकリ®注による治療で適切な血糖管理が困難な場合には、毎日投与のインスリン製剤への変更が必要になることがあります。
- 変更の際は自己判断せず、必ず主治医から伝えられたタイミングや投与量で変更してください。